

《秋 号》

2014. 10. 15

あゆみ

Vol. 49

<発行>

社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会
大阪府肢体不自由児者父母の会連合会
〒540-0006
大阪市中央区法円坂一丁目1番35号
アネックスパル法円坂内
TEL 06 (6940) 4181 FAX 06 (6943) 4661
E-mail: info@daishikyo.or.jp
ホームページ: http://www.daishikyo.or.jp

第49回 近畿肢体不自由児者父母の会連合会 大阪大会 310名の参加で盛大に開催!

近畿二府四県が持ち回りで行う近畿の大会が、今年度は大阪担当で7月5日(土)アネックスパル法円坂7階
なにわの宮ホールにて開催されました。

大会運営は補助金カット等で余裕はありませんでしたが、赤い羽根共同募金会の助成金と会員の協力で無事に終わることができました。

今大会は、午前中に3つの分科会に分かれて講義を受けました。
各分科会のテーマと講師の方々は、次のとおりです。

第一分科会「地域生活でのより良い暮らしを求めて」

(社福)さつき福祉会 伊藤成康グループホーム施設長

第二分科会「入所施設での質の向上を高めるために」

(社福)恵生会 野田重夫理事長

第三分科会「医療的ケアを必要とする人たちの暮らしの場」

堺市立重症心身障害児(者)支援センター 児玉和夫センター長

各分科会とも映像を見ながらの講義で、説明もわかりやすく、とてもよかったという感想が多かったです。

午後からの式典では、多数のご来賓にお越しいただき、小河

大阪府副知事、田中大阪市副市長、狭間堺市副市長等にご祝辞をいただきました。

最後に大会決議文を大阪府障がい福祉室西口自立支援課長に受け取っていただきました。

また、ガールスカウト、ボーイスカウトのベテランのボランティアさんと関大、阪大の学生ボランティアさんがとても積極的にお手伝いしていただいたおかげで、会全体、スムーズに運ぶことができました。

ご支援、ご協力をいただいたすべての関係者の皆様に感謝いたします。

大阪大会実行委員長 林 恵子

◆お礼◆

第49回近肢連大阪大会開催に於いて、ご多忙の中、多くのご来賓がご臨席のもと、心温まる力強いご祝辞を賜り、改めて日頃の活動の重要性を認識いたしました。

分科会の講師の先生方には、資料を整えていただいたり、打ち合わせに時間を割いていただいたり、この日のためにご協力いただき本当にありがとうございました。おかげさまでそれぞれ中身の濃い分科会となり、出席者の皆様から充実した内容でたいへんよかったと感想をいただきました。

近畿ブロックの各府県会長はじめ、会員の皆様また、たくさんボランティアの皆さまのご協力により盛大に開催できましたこと、心より感謝しお礼申し上げます。

来年は、滋賀県での開催となります。来年度も皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

大阪府肢体不自由児者父母の会連合会会長 岸谷 洋子



ともに生きる社会をめざして……

第50回 「肢体不自由児者を支援するチャリティバザー」

雨天決行

と き：11月8日(土) 午前9時30分～午後3時

場 所：八尾市山城町一丁目第1公園(買物公園)

(近鉄八尾駅西口 徒歩3分)

◆主 催 大阪府肢体不自由児者父母の会連合会

◆後 援 大阪府／(社福)大阪府肢体不自由者協会

(社福)大阪府社会福祉協議会／(社福)NHK厚生文化事業団近畿支局

(社福)朝日新聞厚生文化事業団／(公財)毎日新聞大阪社会事業団

(社福)読売光と愛の事業団／(社福)産経新聞厚生文化事業団

皆様のご来場を
心よりお待ちしております。

当連合会では、肢体不自由児者の社会参加を促進し、地域社会のなかで自立し、生き甲斐のある生活ができるよう各種取組みを行っています。

今年度は第50回目の開催となります。売上金の一部は、東日本大震災の義援金として協力させていただきます。

大肢連 バザー事務局:06-6940-4181

大肢協 ひだまり秋まつり 開催

今年で2回目を迎えたひだまり秋まつり。大東所長より開会の挨拶の後、地域の来賓の方々からも暖かいお言葉を多数頂きました。

会場では、フランクフルトやうどんなどの模擬店の他に、スーパーボールすくいや円玉落としなどがあり、小さい子どもさんも真剣に取り組んでいました。

また、施設の中にカラフルな色彩で籠にまたがる女の子の絵画が飾られており、多くの参加者が見入っていました。この絵は、地域の会社の社員が描いた絵で、淀川にかかる橋からのインスピレーションを得て描いたとのことでした。

開催にあたり、保護者・ボランティアの方々には受付をはじめ、多くのご協力をいただき、「ひだまり」はたくさんの関係者、そして地域の方々に支えていただいているという事を改めて感じる事が出来た秋まつりとなりました。



大肢協「友の会」

共同募金助成

フレンドシップキャンプ



「NHK厚生文化事業団」ならびに「NHK歳末たすけあい配分金」の助成を受け、9月6日(土)～7日(日)の1泊2日で友の会の「フレンドシップキャンプ」を実施しました。

今年は岡山県の「休暇村蒜山高原」へ行き、牧場で搾乳体験をしたり、キャンプ場で流しそうめんを楽しんだりしました。初日はあいにくの雨模様で一時はゲリラ豪雨並みの激しい降り方となりましたが、同行のボランティアさんの協力で無事に予定をこなすことが出来ました。今回もバスの乗り降りや食事、入浴の介助の他、プログラムの盛り上げ役として多数のボランティアさんの協力を得ることが出来ました。

大肢協 なにわの宮 事業拡充について

現在、なにわの宮では生活介護と就労継続支援B型の2事業を実施していますが、平成26年10月に就労継続支援B型の事業所を移転いたしました。移転先では今後、新たにカフェ事業を開始するとともに、移転によって空いたスペースを活用して生活介護の事業も拡充します。これにより、利用者の潜在的な能力を発掘し、工賃の向上を図るとともに、事業所と地域社会との交流を一層促進したいと考えています。

新しい事業所は大阪市東成区、JR玉造駅から徒歩5分の場所にあり、カフェ事業は平成27年秋にオープンを予定しています。どんなお店になるかは、まだ未定ですが、職員も利用者と共に接客の勉強をしたり、おいしいコーヒーの入れ方の研修なども受けながら、楽しく働けるお店を目指していきたいと思っています。

■■ 自助具の部屋 ■■ 共同募金助成

「第41回国際福祉機器展H.C.R.2014」出展

10月1日から3日までの3日間、「第41回国際福祉機器展H.C.R.2014」が東京国際展示場(東京ビッグサイト)で開催され、大肢協からは「大肢協・自助具の部屋」が出展参加しました。

開催期間中は、13万人の来場者があり、このうち自助具の相談コーナーには3,200人が訪れました。訪れた人たちは、ボランティアスタッフが制作した自助具を熱心に見学され、中には制作についての相談をする人たちも数多く見受けられました。

「大肢協・自助具の部屋」では、その活動を全国の人々に広く知っていただくため、今後もこうした展示会等に積極的に出展参加し、自助具の普及や相談と福祉機器に関する情報提供に取り組んでいくこととしています。



● 障害者作業所等の自主製品展示即売会 ●

ファッショングループSUMIREのご厚意により「第16回チャリティユニット展」展示即売会場の一部を提供していただき、自主製品の展示と販売を行います。たくさんのご来場をお待ちしています。

日時 11月20日(木)～11月26日(水)

午前10時～午後7時(但し、最終日は午後5時まで)

※最終日は近鉄百貨店の特別販売会実施の為、専用の入場券をお持ちでない方は入場できません

会場 近鉄百貨店・上本町店 9階催事会場(大阪市天王寺区)
(近鉄「大阪上本町駅」、地下鉄「谷町9丁目」下車すぐ)

大阪府委託事業 **日帰りレクリエーション**

『みかん狩り』

日程 12月6日(土)

行き先 新樹園(岸和田市北阪町)

車イスでもみかん狩りが楽しめます。昼食はすき焼き、リフト付バス2台予定。

※詳細が決まり次第、各父母の会より案内いたします。



第47回 全国肢体不自由児・者父母の会連合会 全国大会 豊橋市で開催!

全国大会が、9月6日(土)、7日(日)の2日間の日程で、愛知県豊橋市ロワジールホテル豊橋で開催されました。「住み慣れた地域で、共生社会の実現を目指して」～どんなに重い障害を持っていても地域で普通に生きる～を大会テーマに全国から1,000人が集結、大阪からは18人が参加しました。

●一日目

障害者スポーツ「ポッチャ」日本代表の加藤啓太さん(27歳)が講演し、ロンドンパラリンピックに出場した体験を語りました。

豊橋市、岡崎市の父母の会は、特別支援学校の医療体制や卒業後の進路への不安を訴える寸劇を演じました。

最後に「障害児(者)医療学寄付講座」と医療的ケアについて名古屋大学 大学院 三浦清邦教授による基調講演がありました。

●二日目

「共生社会の実現」をテーマに、以下のとおり各講演がありました。

- ・地域医療の実践報告…在宅支援のための医療型障害児入所施設開設について
 - ・支援学校から…入学から卒業後の支援について
 - ・福祉の現場から…自分らしい暮らしと福祉サービスの活用について
 - ・親亡き後の支援について…成年後見制度の活用、課題
 - ・体験しよう、備えよう…避難所体験の取り組み
- 大きな市、小さな町、それぞれに工夫し実践していると感じました。

大肢連事務局 松尾 ひろ子



大肢連 平成26年度 ブロック懇談会報告

大肢連事務局長 井上 千都

今年も大阪府内を7ブロックに分け各地に役員が赴き、地域の会員の皆さんと懇談会を行いました。

今回の懇談会のテーマは、各ブロックで抱えている課題についてブロックで話し合い、それぞれにテーマを決めていただきました。多くの方が、子どもの生活の場について不安を抱えておられました。また、入院時のヘルパー派遣を求めている声も多くあがっていました。

各ブロックであがってきましたご意見等を参考に、国・府への要望書を作成します。

6/18(水)	中河内ブロック	八尾市立障害者総合福祉センター	34名
6/26(木)	南河内ブロック	藤井寺市立福祉会館	13名
7/10(木)	阪南ブロック	和泉シティプラザ	14名
7/14(月)	大阪市ブロック	アネックスパル法円坂	17名
7/22(火)	北河内ブロック	四条畷市立市民総合センター	12名
7/25(金)	堺市ブロック	堺市総合福祉会館	23名
7/29(火)	北摂ブロック	吹田市立総合福祉会館	23名

参加者の感想

大肢連事務局次長 橋本 佳子

大会1日目の基調講演では、名古屋大学での障害児者医療に従事する医師を養成する講座のお話を聞きました。全国の大学でも同じような講座が開催され、障害児者に理解のある地域の医師が増えれば良いと思いました。医療や支援学校、支援センター等、障害児者を取り巻く方々の提言があり、色々な方と関わりながら生きていくことが必要だとあらためて感じました。また、宿泊をしての避難所体験の事も興味深く、2日間とも充実した大会でした。

大会終了後は、豊川稲荷を参拝し、浜名湖では遊覧船を楽しみました。名古屋城の煌びやかな襖絵を堪能して帰ってきました。

箕面市 榎原 淳子

1日目は記念講演、寸劇、基調講演、2日目はシンポジウムと災害予防講演と、充実した内容で、いずれも地域での生活の取り組みを大変興味深く拝聴しました。特に基調講演における名古屋大学三浦清邦教授の医療的ケアの必要な障害児者への取り組みや障害児者医療従事医師の養成、医学部学生教育の現状を聞くことができていへんよかったです。また愛知県立豊橋特別支援では、子ども達が1人の社会人として地域社会の中に位置づけるような取り組みを行っているとのことでした。

大肢連

風船バレーボール 大肢連で初めて開催!

全肢連の補助事業を受け、8月25日(月)アネックスパル法円坂5階「パレストラ」にて、大阪ふうせんバレーボール普及会 石井勝治会長を講師に迎えて、開催いたしました。

車いすに乗っている方、歩くことができる障害者の方、その家族や指導員さんなど、総勢33名が参加しました。

参加者の感想

東大阪市 川田 真千子

講師から競技のルールの説明を受け、風船を打つ練習をした後、4チームに分かれ2コートで試合をして楽しみました。

思っていたより奥深い競技でしたが、どんなに重い障害の人でも楽しく参加でき、試合であるのになぜか面白くて、笑い声が絶えなく、あっという間に終わってしまいました。

次回は、優勝できるかなと思いつつ、久しぶりに心も体もリフレッシュして帰ってきました。

松原市 徳田 町子

6人1チームで、鈴の入った大きな風船を一人1回はかならず触り、相手チームに返します。

私たち親の方が、必死になって風船を追いかけましたがなかなか思うように体が動きません。でも終わるころには少しはうまくなってよかったです。車いすであっても参加可能なスポーツであるとわかり、親子で本当に楽しかったです。

また自分の地域でできればよいなと思いました。暑い日でしたが、とても気持ちの良い汗を流した1日でした。

第62回『手足の不自由な子どもを育てる運動』

11月10日～12月10日

この運動は、肢体不自由児者の福祉の向上を図るため、全国的に展開しています。運動では、「絵はがき」と「花の種」をお贈りし、寄付金募集をお願いしています。

友情の絵はがき

愛の絵はがき



花の種

- | | | |
|-------------|----------|------|
| ◎友情の絵はがき | 1組(2枚入り) | 100円 |
| ◎愛の絵はがき | 1組(2枚入り) | 100円 |
| ◎花の種(カモミール) | 1袋 | 100円 |

寄付金は、肢体不自由児・者の療育思想の普及、作品展、自助具の製作・普及活動、その他障害者社会参加促進事業に使用いたします。

主催 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会
各道府県肢体不自由児・者協会

《お申込み》(社福)大阪府肢体不自由者協会



会長 松井 静子

大阪市内各区に父母の会が設立されて40数年が経過し、その当時から会員の年齢層も共に高くなっています。福島区父母の会も当時の親たちが「在宅をなくそう精神」で作業所設立にがんばり、まず老人会館を借りてなかよしセンターを発足、現在30周年を経て父母の会が中心となり社会福祉法人すずらん福祉会、生活介護事業所すずらんの園を開所しました。

その後、親たちの悩みは、親亡き後や子どもの将来と代わっていきましました。幸い土地の寄贈を受け、2カ所のグループホームひだまり・こすもすをつくり、現在12名の利用者が入居しておられます。

また、障害があるため在宅を余儀なくされ、福祉サービスをまったく受けておられない方との出会いがあり、その後、支援を受けることができた例もあり、これからもそんな方々の力になりたいと思っています。

一般寄付金
一、七五二、五九八円

渡士 洋
藤川 重一
藤川 重樹

大阪府ボウリング場協会
ホテルコンソルト
千里阪急ホテル
T.T.ボウルみのお
リーガロイヤルホテル
ホテル京阪天満橋
シテイプラザ大阪

【大肢協ご協力感謝】
(順不同、敬称略)
平成二十六年七月一日
九月三十日現在

ご招待お礼
カフェド・ラ・パ・様(大阪
市)から「大阪クラシック」
に招待いただきました。

第30回 肢体不自由児者の作品展 作品募集

募集期間 12月8日(月)～1月9日(金)

絵画、書、手芸、編物、陶芸など、あなたの豊かな感性をお待ちしています!(応募用紙は大肢協までお問い合わせください)

作品展:平成27年3月11日(水)～15日(日)

会場:ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
(地下鉄・京阪「天満橋駅」下車徒歩5分)

※この「作品展」は、共同募金の一部助成を受けています。



大阪府からの情報提供

「大阪府内において医療的ケアの提供が受けられる指定事業所」に居宅介護事業所(59件)を追加し、府のホームページで公表しています。

(ホームページ)

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shisetsufukushi/kamibaitai-shiryo/index.html>

主な行事(10月～12月)

- ★宮様チャリティボウリング大会関西大会(関西ボウリング場協会)
10/13(月・祝) 弁天グランドボウル
- ★みんないきいきボランティア(JAM大阪招待)
10/25(土) ひらかたパーク
- ★第50回チャリティバザー(大肢連)
11/8(土)9:30～ 八尾市山城公園(買物公園) ※1頁参照
- ★作業所等自主製品展示即売会
11/20(木)～26(水) 近鉄百貨店上本町店
- ★キッズニア甲子園招待(全肢連)
11/20(木)・12/4(木) キッズニア甲子園
- ★近畿ブロック地域指導者育成セミナー(近肢連・全肢連)
11/29(土)～30(日) パレス神戸
- ★国への要望(大肢連)
11月下旬 未定
- ★障害者週間啓発活動(大肢連)
12/3(水)～9(火)のうち1日 京橋駅前
- ★第30回肢体不自由児者の作品展 作品募集
12/8(月)～1/9(金)
- ★「友の会」クリスマス会(大肢協)
12/13(土) アネックスパル法円坂
- ★クリスマス・チャリティ公演(日産労連大阪地協招待)
12/15(月) 国際交流センター「ビッグアイ」
- ★映画鑑賞のつどい(大阪府委託事業)
未定
- ★対府要望(大肢連)
未定